

急に退院が決まった、新規のがん末期の方のベット搬入に立ち会い同僚は「やめたら」と言ったけど帰りは水に追いかけられ怖かった

公用車水没中！
移動困難なため
帰宅します

災害訓練の紹介

広島県 安芸地区医師会総合介護センター

板谷裕美



峠の道が川のように、滝のように、水が流れている。
車の中に水が入ってきた
自宅にたどり着けない。

職員が土砂崩れ巻き込まれた



西日本豪雨災害の3年後、また、台風9号接近に伴う豪雨災害発生

7月8日(木)

安芸区 熊野町に警戒レベル4が発令されているようです。訪問を調整して自宅待機指示を出していいですか？

午前6:14

府中も一部で土砂崩れレベル4です お願いします。

午前6:16

既読 20
午前6:16

もちろん出してください

了解です

午前6:17



畑賀3丁目学校の裏の川です

午前9:24



午前9:24

海田ステーション、
[redacted] が出勤しています。
午前は訪問休み、午後3人のみ訪問予定です。



訓練・見直しが役立った

B C P 自動発動

- ・警戒レベル4
(グループラインで確認)
- ・情報共有
- ・職員の安否確認、危険地域の職員は避難または出勤抑制
- ・訪問調整 (トリアージ)
- ・利用者の安否確認
- ・他機関との情報共有
- ・報告



安芸地区医師会近くの アンダーパス冠水



7月8日(木)



板谷さん、広島市が
また、大雨警報。海
田町の様子がテレビ
で映されてまし
た。心配です。大丈
夫ですか？

午前8:22

ありがとうございます。
訓練通りに動いていま
す。

情報共有ツールとして、
今回もラインが有効に活
躍です。
ラインの様子、少し転送
します。

既読
午前8:26



DIG

地図や見取り図に参加者が書き込みをすることで、自分の地域や住まい・職場に潜む災害の危険性を「見える化」し、どうすればよいかをみんなで考える、頭の防災訓練



災害エスノグラフィー

目的は災害対応能力の向上を図ること。災害体験談を読みながら、気づいた内容を分類



机上訓練

事例検討

桜井さん（男性80歳代後半） 要介護2

脳梗塞後遺症・右不全麻痺、トイレは自立、寝たきり度A1（※1） 認知度Ⅱa

- ・ 自宅は、集合住宅（築20年・分譲マンション1階）、（川と海が近いが、建物が多
く海川は目視できない 海拔1.9m 浸水想定地域、避難所南交流センターはすぐ裏だが浸水想定地域内）
- ・ 独居、妻とは死別、1人息子（50歳代 会社員）は県外に在住、近所との付き合いは無い
息子：心配はしているが、仕事が忙しく、日帰りで受診同行（月に1回）するのが精一杯。息子宅での同居を
考えた時期もあったが、本人が『家を離れる気は無い』と拒否
- ・ 元々頑固・几帳面な性格、介護サービス利用は拒否し、軽トラックで買い物に行き、自分が食べる程度の野菜を
育て自炊していた。身体・認知共に機能低下見られ、畑仕事や自炊・車の運転もできなくなり介護保険申請
- ・ 訪問看護2回／週（服薬管理・状態観察・リハ職1回）、訪問介護2回／週（生活援助：掃除・洗濯・買い
物・ゴミ出し 身体介護：入浴介助）配食弁当利用 ケアマネジャー 1回/月 デイサービスは拒否。ほとんど閉じ
こもり状態
- ・ 台所の隣の和室にパイプベッドが置かれ、洋服ダンス・整理ダンス・テレビ・座卓・電気ストーブ・扇風機等々あり。
座卓や整理ダンスの上には書類や郵便物・本など積み重なっている
- ・ 災害時避難は「何があっても避難しない、どこにも行かない、どうなってもいい、ここで死んでいいんじや」

クロスロードゲーム

Q1. 午前7時30分熊野/府中町に大雨警報レベル4発令

他の地域はレベル3線状降水帯発生

あなたは出勤（訪問）しますか？しませんか？

Q2. 大雨が続いている。訪問移動中ゲリラ豪雨に遭遇！

そのまま訪問に行きますか？行きませんか？

Q3. 川の近くの利用者宅に訪問中レベル4発令！

川も危険水位に達し帰り道も川沿い

利用者が「避難所まで乗せて行って欲しい」

避難所まで送りますか？断りますか？

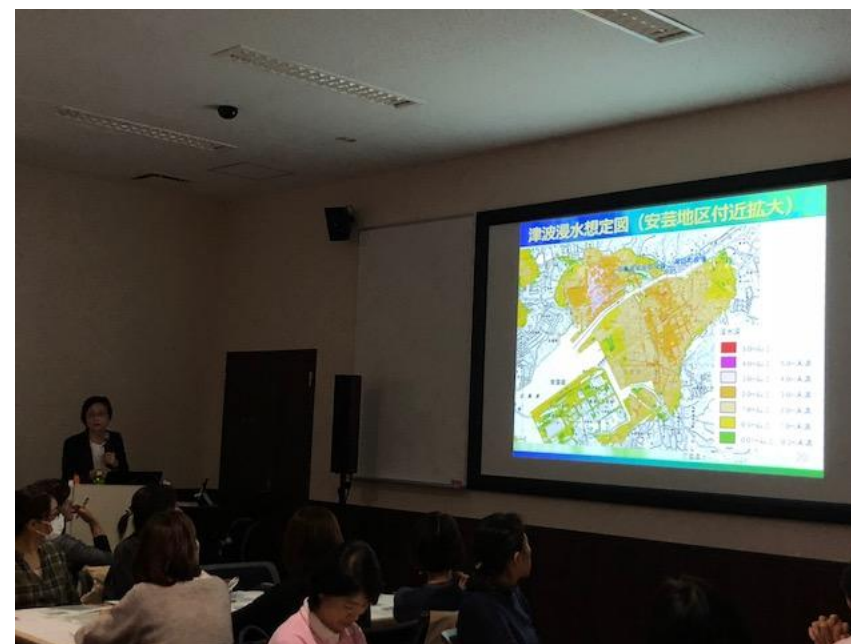
災害研修

午前中：BCP策定の基本

(対象者) 近隣の訪問看護ステーション所長など

午後：在宅療養者支援における災害対応

(対象者) 当総合介護センターのみ全職員



- 実際にシュミレーション訓練をする中で、何に困ったか・不安だったかを知りましょう
- これは、自施設や近隣の訪問看護ステーション合同研修にも使える

地震想定 シュミレーション訓練

ハザードマップ



アクションカードを使用して



BCP周知させるための研修会
(会場とWeb利用)



『アクションカード』

発災直後の混乱の中、職員が具体的に何を行えばよいかを示した災害対応初動マニュアル

【No.1】 所長→主任→常勤→事務→スタッフの順で、 あなたがリーダー！！まず落ち着こう 確認と指示を行う 1. 自身の安全確保 ヘルメット被れ！ 2. 事業所内に居る職員の安否確認 動けない職員は？ ケガ人は？ ☆可能であれば、救助し安全な場所に移動 3. 危険は無いかな？ 4. 情報収集 テレビ→ラジオ 5. 【No.2】へ 他に職員がいれば【No.2】を渡す →報告を聞き、【No.2】を受け取る 6. 【No.3】へ 「津波警報」 7. 非常持ち出し品の移動（2階へ）※裏を見て ★危険な場合、避難を優先する★ 自身の家族の安否確認	【No.1の裏面】 BCP-03-04_非常時資産持出一覧表 段ボール箱 袋類 台車等利用して、ヘルパーステーションへ運ぶ 非常持ち出し品の移動 【非常持ち出し品】 ◇BCP（黄色ファイル）・地図 ◇災害時覚書 ◇スタッフスケジュール ◇職員台帳 ◇BCP（黄色ファイル）・地図 ◇ノートPC（+付属品）・タブレット（+付属品）・USB ◇金庫または金庫保管物（移動出来ない場合は金庫の鍵） ◇カルテ（移動できなければ施錠し、鍵を持ち出す） ◇衛生材料・感染対策物資・文具類 ◇災害時備品・事業所内の食料 ◇利用者宅の預かり鍵・薬 ◇自転車・電動自転車・バイク・公用車の鍵 ◆可能であれば公用車を安全な場所に移動 ●冬の場合、上着等保温できるもの ●私物 保管場所はカードの中に入ってます。 ☆避難の時は、鍵付キャビネット等は施錠、鍵を持ち出す。 【No.3】へ 自身の家族の安否確認
---	---

限られた人数と限られた資源で、効率よく対応を行わなければいけない

“その時その役割に就いた人がアクションカードを読めば、必要な行動（アクション）がわかる”

～メッセージ～

平成30年7月6日の西日本豪雨災害は、初めての体験で戸惑うことが沢山ありました。でも、取り組んできた災害対策は全て役に立ちました。平時に備えていることは、非常時に活かれます。



災害伝言ダイヤル訓練

10月15日(水)に災害伝言ダイヤルの体験を各事業所で一斉に行います。
訪問などでお忙しいとは思いますが、ご協力お願いいたします。

海田 ST の練習時間は 12:00~18:00

自分の安否
を入力

練習内容

- 1【録音】電話番号に自分の安否を入力(録音時間30秒以内)
 - i 名前
 - ii 居場所
 - iii けがなどの有無

安否確認の電話番号
①082-824-1375
②082-823-1101
③082-823-7143

再生して決定事項を聞く

- 2【再生】決定事項の電話番号の内容を聞く

決定事項の電話番号 082-824-1340

同時にSNS(グループライン)でも行なう

【No.6】	【No.6の裏面】
利用者の安否確認 必要物品 災害時覚書一覧・安否確認表 筆記用具 電話→携帯・スマホ→公衆電話  ① 災害時覚書で連絡する。(電話の内容は裏面を参考に) 「赤ラベル→青ラベル→無ラベルの順」 ② 自宅が電話不通の場合携帯No.の方が繋がり易い。 ③ 医療機器等使用の場合は【No.6-②】参考 ④ 災害時覚書一覧・安否確認表に記入する。 ⑤ 地域の情報については地図に書き込む。 ☆安否確認ができない利用者に対して、 安否確認フローチャート ①災害時覚書の連絡先(家族)に連絡を取る ②居宅やサービス事業所に連絡を取り安否確認できない事を伝え 情報提供を促す ※基本、利用者の捜索、行政への安否不明の届出は家族により 行う。独居の場合は、近所や民生委員にも相談する。	利用者の安否確認② ・●●様ですか？ こちらは安芸地区医師会訪問看護の▲▲です ・このたびの災害で被害はありませんか？ ・ご自身のケガはありませんか？体調は？ ・御家族は御無事ですか？ ・家にはどんな状況ですか？電気や水は？ ・家に周辺はどのような状況ですか？ ・家で過ごしておられますか？どこか避難されていますか？ ・お薬はありますか？ オピオイドやインシュリンについては必ず確認する ・「医療機器・材料についてはNo.6②」 ・食料や水はありますか？ ・今は訪問することができませんが、状況がわかって、訪問再開できる日が決まれば、改めて連絡します。それまで 周りの方と協力して頑張ってください。 ・もし、避難される場合は、どこですか？ ・もし、避難される場合は、～～に避難場所を 貼っておいて下さい。 (参考：H30西日本豪雨災害時の確認内容)

空き巣被害を考えると
別の方法を考えねば...



安芸地区医師会総合介護センター

BCP HAND BOOK

(BCP発動対応ハンドブック)

《職員の皆様へ》

あらゆる脅威を想定し対策や準備をしていても、事業活動の原動力である“職員”の協力なくして事業継続は不可能です。脅威の発生時においては、まず生命を最優先に行動し、必要な情報を集め、予め定められた手順（事業継続計画や初動・復旧対応手順書など）に基づいた対応を行う事が重要です。事業継続は職員の雇用を守るための活動でもあります。

皆様のご協力をお願いします

表 側

1. ハンドブックの目的
本ハンドブックは、本センターが不慮の災害や事故に遭遇した場合に事業継続計画（以下「BCP」という）を発動した場合において、職員が混乱することなく迅速に初動対応を実施し、速やかな事業復旧へつなげることを目的として作成された。

BCPは下記の条件によって自動的に発動される。

脅威種別	発動条件
地震	広島県南西部に震度6弱以上の揺れ
風水害	安芸地区に災害警戒レベル4が発令、 広島県に大型台風が直撃
火事	事業所で火災が発生
その他	その他の脅威による“事業の中断、復旧の目処が立たない”場合

※上記の条件以外の状況であっても、発動権者（統括所長等）によってBCPが発動される場合がある。

2. BCP発動後の行動

(1) 《就業時間内：A対応》

①訪問先等からの帰社について

災害が発生している場合は、自らの生命・身体の安全確保を最優先に行動し、事業所周辺の安全が確認されてから帰社する。

②帰宅について

“帰宅時に二次災害に巻き込まれる”もしくは“帰宅困難になる”などの危険性があることから、周辺地域の安全が確保されていない状況において、職員が自らの判断で帰宅する事は許可できない。各事業継続責任者の指示に従い行動すること。

また、何らかの理由により自らの判断で帰宅する場合は『帰宅誓約書』を提出することとし、提出なく帰宅した場合は、『帰宅誓約書』の内容に同意したものとみなす。

全職員が持っている

・ 自動発動条件

・ BCP発動後の行動

就業時間内：A対応

就業時間外：B対応

BCPが発動したら

“命を最優先”

“パニックを起さず冷静に行動する”

就業時間内の場合

(A対応)

事業所に保管されているBCPならびに初動・復旧対応手順の内容に従い行動する。

就業時間外の場合

(B対応)

本ハンドブックに記載されている内容に従い行動する。

(2) 《就業時間外：B対応》

①非常招集メンバーの出勤について

初動・復旧対応手順書に従い初動対応を実施する。出勤にあたっては非常招集メンバー間で連絡を取り合い、情報共有（被災の状況や交通網・公共交通機関の状況等）し、①自事業所への出勤 ②最寄りの事業所への出勤 ③自宅待機 のいずれかの行動をとる。なお、二次災害などに巻き込まれないよう、身体防護に留意する事。

②非常招集メンバー以外の職員の出勤について

各事業所責任者からの指示に従い出勤する。

重要！！

(2) ①②において、通話できない時は、自らの判断で行動する。ただし、本人や家族の生命・身体の安全確保ができない状況において出勤を強制するものではない。

内 側

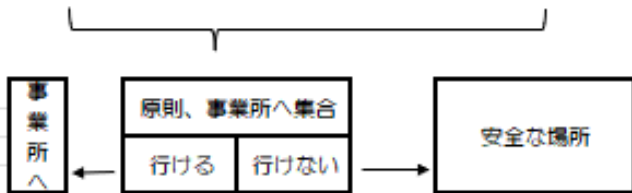
警戒レベル別災害時の行動

災害発生時の フローチャート

●災害発生時フローチャート（災害発生時24時間以内）

- ・ 震度6弱以上の地震
- ・ 震度に関わらず、津波警報が出た場合

勤務中		その他
訪問中 ・自身の安全確保 ・利用者の安全確保 ・利用者家族の安否確認 ・自身の家族の安否確認	移動中 ・乗車の安全確保 ・自身の安全確保 ・自身の家族の安否確認	・自身の安全確保 ・自身の家族の安否確認



情報共有
報告・指示受け

- LINE
- 災害伝言板
- 災害伝言ダイヤル

LINEグループ

災害伝言板
災害伝言ダイヤル171

発災後12時間以内に
状況報告

【名前・身体状況・現在地・周囲の状況・行先】

● 24時間以降も出勤出来ない日は、午前中に状況報告。

災害伝言ダイヤル171

《安否情報の録音時》

☆082-824-1375 ★082-824-1340

《指示確認（再生）時》

082-821-1133 《毎日17時以降に確認》

●職員の安否確認表

[illegible]

- ・ 職員の安否確認
- ・ 招集メンバー

☐ 非常召集メンバー

●警戒レベル別災害時の行動（総合介護センター）

2020.8更新

気象情報	大雨		大雨・洪水警報 記録的短時間大雨警報		大雨特別警報	
	雨		強雨注意報		暴風警報	
	高潮		高潮注意報		高潮警報	
	竜巻の心配	竜巻注意情報	竜巻警戒情報		竜巻危険情報	
	土砂災害		大雨警報（土砂災害）		土砂災害警戒情報	
警戒レベル						
警戒レベル		1	2	3	4	5
避難情報		災害への も帰る	自分の避難行動を 確認	高齢者等避難開始 ～避難準備	避難指示 速やかに避難	避難指示 速やかに避難
本部	営業中				訪問サービス中止指示	避難指示 帰宅禁止
	時間外				自宅待機指示	
事業所	営業中		今後の気象情報の収集とハザードマップを確認			
			災害用商品の確認			
			周囲の状況確認			
			事業所の災害対策（応用車、土砂、浸水対策等）			
			安全の確保の上、交通状況などをラインで共有			
				速やかに避難・帰宅		
			スタッフスケジュールの把握			
		LINE	スタッフの所在確認、情報提供			
			ハザードマップによる危険区域の把握			
			赤ラベル・黄ラベル利用者の確認			
事業所	時間外		赤ラベル対象者へ避難を促す連絡			
			訪問調整（必要度を考慮）			
			赤ラベル対象者へ避難を促す連絡			
			訪問調整（必要度を考慮）			
			LINE			
訪問中	時間外		避難指導：L3で避難、持ち出し物品、安全な場所など			
			夜間の警報が予測される場合は避難を促す			
		LINE	可能な範囲で事業所へ状況報告			
			利用者の居住地域の再確認			
			必要性を考慮し短時間でのケア提供に変更			
				ケア支援の中止		
			LINE			
			避難・帰宅			
時間外	時間外		職員は自分の避難行動を確認			
			訪問の調整を行う			
				出勤前：自宅待機		
			情報収集			
		LINE	安全なら出勤			

2023.10

南海トラフ巨大地震に備え

海田災害訓練

震度：6強

津波：2時間後に広島湾到達

平日10：30訓練開始

目的

①アクションカードを使いどこまで実践できるか

・役割分担がスムーズにでき、津波被害に備え災害時持ち出し物品が確保、移動できるか検証

②拠点整備





自身の安全を確認
さあ 必要物品を2階に運びましょう



パソコン・充電器・BCP書類 etc
最低限必要な物品を2階に上げたが自分の物品を上げるのを忘れた



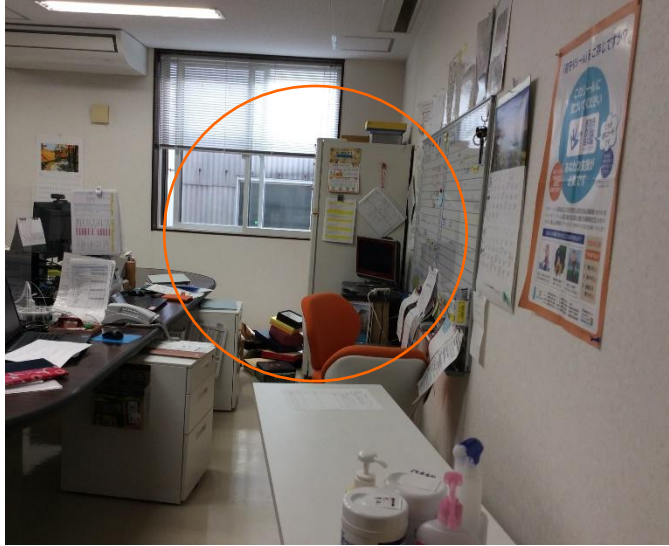
思ったより職員数が多かった。
狭い!! ヘルメットが足りない



停電になると昼間でも暗い通路・トイレ・
仮眠室など夜間も考えると
ヘッドライト、ランタン、懐中電灯は複数
必要だ!!



床の上には物が散乱
災害備蓄品（水、トイレ凝固タブレット、紙おむつ）を出したが…

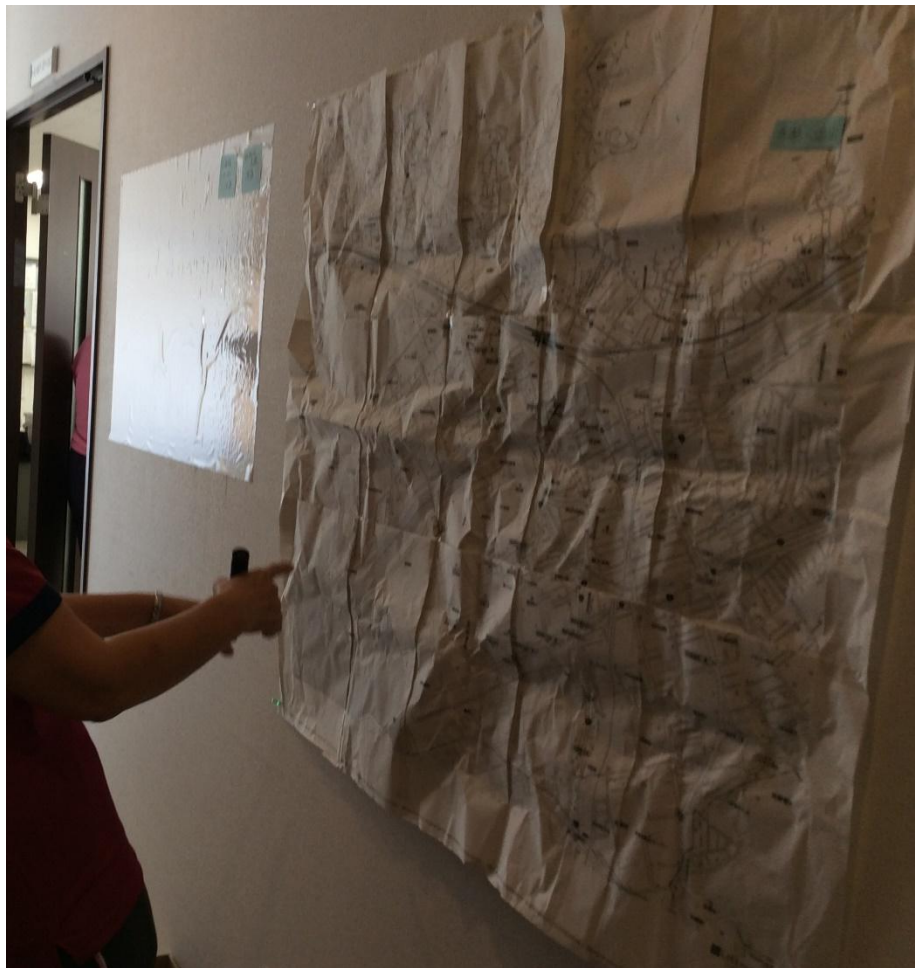


トイレ用ビニール袋は、
もっと必要ローリングストックで



2F通路に共有情報を書き込むが、停電時は
暗くて見えない通路が狭いので邪魔になった

ホワイトボードシート
は効果的



感想

- ・地震直後の自身の安全確保の状況について、オレンジは机の下に避難し」周りに声をかけていた。
転倒防止策や飛び出し防止策ができていない。ヘルメットが無かった。
- ・地震直後の自身の安全確保の状況について、居宅・ヘルパーは確認できていない。
転倒防止策や飛び出し防止策についても不十分である
職員全体は一定の時間に、2Fに避難でき持出物品についてもアクションカードを参考に指示が行なわれ運び出すことができている。
更に地図や記録用紙の壁ピタ、水、紙おしめ、太陽光発電の準備まで進めていた。

検討
改善
案

- ・オレンジの部屋を災害対策本部、ヘルパーステーションに居宅と訪看の物品をいれる。
2F部分の環境整備の検討（オレンジ・ヘルパーステーションの事務所機能を含めた受け入れ側の部屋割り。休憩室、仮眠室は倉庫・会長室・更衣室か？
- ・避難場所の変更の検討：最悪を想定し満潮・津波・大雨洪水が重なり、想定されている3.6m以上の浸水深となる場合
⇒近隣のマンション、海田役場、矢野中学校、南海田病院、医師会館の屋上に上られるように階段をつける
- ・地図や壁ピタは2F廊下の壁に貼るのは、停電を予測した際見にくいのでオレンジの窓側を利用する
- ・入った情報を書き込んでいる
⇒・情報共有をするために、情報分類が必要
・新たな情報と要望⇒解決・確認・結果が分かる表など
- ・公用車の水没の可能性がある
⇒・リース会社へ相談⇒医師会に依頼
(車検証のみ持出すことを知らない職員がいるので、再度研修会が必要)
- ・電動自転車・バイクなど水没の可能性があるので移動の必要
⇒・医師会事務局長に医師会館2Fへ移動について相談 ⇒統括所長
- ・ブレーカー（居宅の倉庫・訪看食堂）の電源を切る
- ・断水・排水管損傷を考え、トイレが使用できない場合、既存のトイレを防災トイレ（糞尿処理剤タブレット）にする
⇒紙おしめ（ビニール袋2重とし間に紙おしめを入れる）、ビニール袋は大量に必要となるので、ローリングストックとする
- ・水・紙おしめ・食料・災害用備蓄品などは倉庫を片づけ、棚にセッティング場所とする

◎（災害対策本部）要望、報告、職員・利用者の状況：壁ピタ利用し記載する

日時	どこ（誰）	何を依頼・要望	何時までに（緊急）	誰が受けた	どこに頼んだ	結果	完結日
----	-------	---------	-----------	-------	--------	----	-----

2023.10

大雨による水害 府中災害訓練

想定：事業所横の榎川が氾濫危険水位を超えた

10:25 県の防災メール「榎川の氾濫危険水位を超えた」と情報が流れた

- ・災害委員：特別警報受信時の電子音を流す

10:30 事業所のアクションカードに気付かない
居宅スタッフも2階に集合

- ・スタッフの安否確認をどの方法ですか協議が始まる



10:40 「落雷の影響でこの辺りは停電になった」との
想定→停電（電気を切る）

- ・電気が使えない状況となり、電話回線・テレビからの情報収集を断念

- ・まだ協議が続く…

アクションカード（A対応）に気がつかない

「地図がある！」「倉庫の荷物を2階に上げないと」などの声が出始め、スタッフがそれぞれに動き始める

（アクションカードに沿った動きではない）

10:50 拠点整備が始まる

町内の地図を広げ始める

別のスタッフが、アクションカードの記載内容に気づき役割分担があることに気付く

20分後

10:50 リーダーからアクションカードに沿った役割分担が開始



拠点整備が進む

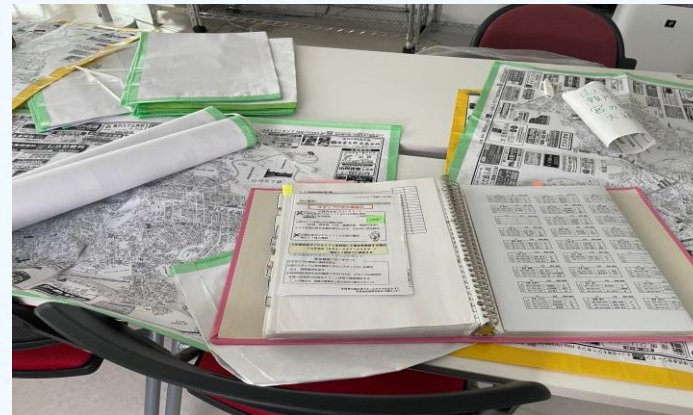
- ・ 地図 ・ 訪問状況の確認・ 居宅の機能を2階に整備
- ・ 情報収集スペースを確保・ 外からわかるように掲示板を作成



ブレーカーの扱いの確認



10:55 電気を復旧させる方法の模索
事業所の備品の配置図を確認
・ 蓄電の利用方法を確認



11:00 トイレ整備
断水ではない状況で水洗ができるようにレバーを探した



どのくらいの水分量（尿量）
OKなのか試した



水分の少ない・多い(大便・小便)に関わらず
排便時の臭いや見た目の不快感を軽減

11:15 電気の確認やトイレ整備など、いろんな場所にスタッフがそれぞれ対応
拠点に誰も残っていない
あれれ…？

11:20 訓練終了
災害委員の事前の話し合いでは拠点整備が完成できるところまでを想定
これはクリアしているよ



2023.10

熊野災害訓練



広い駐車場に集合しアクションカードで役割分担
(職員が少ない場合、役割は2つ)

持出物品の準備



道路情報などを書き込む



(小規模事業所) 熊野ST・熊野居宅災害訓練

○実施日：平日勤務内（アクションカードA対応）

○災害種別：震度6 ○発生場所：安芸灘

○訓練内容

- ☑安否確認 ☑発生直後の対応 ☑被災状況の確認 ☑役割分担
- ☑利用者への連絡・安否確認 ☑非常持ち出し品の移動

○訓練中に停電、通信が取れない、電気復旧したが火災が発生したなどハプニングを入れながら実施

時間	状況	職員の動き
10:30	地震発生	・机の下に隠れてヘルメットを装着 ・落ち着いたので足元の動線を確認しながら駐車場へ出る ・全員無事か確認 ・ステーションに戻り、アクションカードを渡す
10:40	停電 電話使用不可	・携帯電話で利用者の安否確認を開始 ・停電により中断 ・LINEで職員の安否確認をする ・ラジオを使用して状況確認 ・町内の地図・どこでもシートを準備して記録 （どこでもシートは光の入る壁に貼る） ・非常持ち出し品の移動
11:00	停電復旧	・利用者の安否確認再開
11:05	火災が発生 (電気が復旧したことで)	・外に出て避難。消火器を探して消火活動 ・公衆電話で消防署に連絡
	↓ 鎮火	ステーションに戻り、各自の進捗状況を報告

11:30 訓練終了

結果と気づき

・一時的に職員の動作が止まる場面が出たが、問題解決しながら訓練が行えた。

持ち出し物品の移動に人手と時間がかかる。

- ・みんなが落ち着くためにも、30分ごとに情報提供をしあう。
- ・持ち出し物品のおさらいが必要。鍵など大事なものをまとめて管理する。
- ・停電時は”どこでもシート”を貼る場所をなるべく明るい場所にするか、蛍光ライトなど準備して記入や確認しやすい工夫が必要。
- ・火災が起きた際に使用した避難経路がガスボンベ保管場所になっていた。別の避難経路の検討が必要。
- ・職員安否確認表を使用した。初動用・今後用に振り分け、避難場所や被害状況・家族の安否などチェックのみで記載が出来るよう修正が必要。
- ・持ち出し物品を運ぶ時に椅子や台車など検討が必要。
- ・災害発生後はガソリンスタンドが使用できない恐れがある。ガソリンのメーターが半分以下にならないよう随時給油する。

- ・公的施設に事業所がある為、住民の邪魔にならないような配慮が必要（車中泊など）
- ・ロッカーに水や防寒具など備える。
- ・公衆電話の緊急コールを押すと直接消防署に繋がる（小銭は必要ない）

H9～安芸地区訪問看護管理 サービス研究会



利用者にエンシュアやメイ
バランスを持って行った

特に問題なし
(南区、中区)

職場までたどり着け
ない。職員無事
避難所生活2名

7/6は吸引器を利用者
宅へ持って行ったが、
死ぬかと思った

利用者安否確認中、電話
がない利用者あり
済生会小屋浦カリブか
ら船が出る。安否確認
する人はいますか



- ・ R2号線が崩落、間一髪渋滞から抜け出し助かった
- ・ 交通渋滞著しく自転車・バイク・徒歩での訪問
- ・ 道路が冠水、車が縁石に乗り上げた
- ・ 土砂に埋まり、クラッシュ症候群で入院

事業所から道路に出る道が
土砂で埋まって出られない

書類倉庫、公用
車など水没②

訪問看護ステーションの連携（検討中）

災害発生時における地域の連携	平時の取り組み
1. 急性期は避難所のラウンド 健康チェックと薬の有無確認, DMATや災害支援ナース等へ情報提供する。 DMATや災害支援ナース等の介入後は地域支援を中心に活動する。 2. 事業所の垣根を越えて、訪問看護が必要な利用者等の支援を行う ・職員居住地の最寄の訪問看護ステーションで活動する。 ・共通のシステムにサマリー、ケア内容、1号用紙等を貼り付けておけば、有事に他のステーションからも情報確認できる	1. ①事前に行政との話し合いや協定が必要 ②地区別に避難所の割り当てをきめる 全避難所の支援できるとは限らない ③地域の防災訓練に参加する 2. ①スタッフの確保：有事に対応できる事業所近隣のスタッフ、ステーション間でスタッフの情報を共有、1年毎にリストは更新 ②共通のツールを使用し情報共有する（バイタルリンク） 課題：共通ツールが可能か？ ・ステーション間の連携の取り方について話し合っておき、平時から活用する。 ③地域の要となる事業所を決めておく ④管内のステーション共同訓練：DIG訓練、災害エスノグラフィ ⑤ステーションに災害時用の備蓄：保存スペースを考え品目、量を決める

災害の規模によっては県レベル、職能団体で考える必要があるのでは？

安芸地区防災医療ネットワーク会議 2011年～

趣旨に賛同するものを募った

災害対策研修会

地域協働

～私たちにできること～

災害はある日突然発生します。医療・介護関係者は平常時から災害に備えることが必要です。防災において危機管理意識の向上と地域のネットワークの構築について、みんなで考えましょう。

内容

演題 「地域社会において必要な取り組み」
～災害支援活動を通して～

講師 黒田 裕子 先生

(地域診断や安芸地区医師会総合介護センターの災害対策に関する活動報告もあります)

対象

安芸地区管内の医療機関、行政機関、介護保険事業所などの職員
広島県看護協会東支部に所属する看護師

日時 平成23年3月5日(土)

開場: 13時 開演: 13時30分
(終了予定: 16時30分)

会場 広島市安芸区総合福祉センター

(安芸区地域福祉センター3階 大会議室)
広島市安芸区船越南3丁目2番16号

定員 150名

参加費無料!

主催: 安芸地区医師会 看護協会東支部
訪問看護管理サービス研究会



主催 安芸地区医師会

安芸地区防災医療ネットワーク会議研修会

災害弱者の命を守るためには

～大規模災害発生時に私たちができること～

安芸地区医師会では平成23年から在宅療養をしている災害時要援護者が平常時から安心して生活でき、災害が起きても療養が続けられるように、各組織・団体がお互いの役割、支援活動の理解を深め連携を強化し、平常時から災害においても有効に機能するネットワークの構築を図ってきました。この度は「連携、協力し減災につながる取り組みを考える」ことを目的とし研修会を開催いたします。

開催概要

場所

安芸地区医師会館 2階大会議室
(安芸郡海田町栄町5-13)

開催日時

平成29年2月4日(土)
14:45～17:00 (開場 14:15)

締切日

平成29年1月24日(火)
(下記申込書より、お申込みください)

内容

第1部 各組織、団体の取り組みについて
第2部 グループワーク「災害弱者の命を守るためには」

災害派遣車

モバイルファーマシー
(移動薬局)見学会開催
14:15～14:45



お申込み先: 安芸地区医師会訪問看護ステーション

TEL: 082-824-1340 FAX: 082-824-1375

参加申込書

所属(あれば)	お名前	電話番号	住所(区・町)

安芸地区防災医療ネットワーク会議

2018年 災害2か月後

訪問看護師

医療機器 2 社

障害家族の会

薬剤師会

医師会会長

2023年から
広島市安芸区
府中町
海田町
熊野町
坂町
も委員として参加

訪問看護師

病院看護師

かかりつけ医

医師会 救急
医療災害担当

西部保健所

介護職

安芸地区防災医療ネットワーク会議 H30.9

- ・ 安芸地区医師会
- ・ 安芸地区医師会訪問看護ステーション
- ・ 安芸地区医師会ホームヘルパーステーション
- ・ 保健所
- ・ 元消防署長



- ・ **安芸薬剤師会** 避難所で薬の飲み方が適切でない方に
師と連携し改善。市販薬を避難所に持ち込む

- ・ **バクバクの会** キャスター付の小さなベッド（担架）
に垂直避難する時に体が覚えていたので滞りなくできた。福祉
いた。訪問看護、人工呼吸器メーカーは電話で安否確認あり行
制度の同意書がどのように活用されているのか

- ・ **フクダライフティック** 3日後には災害時
被害状況やどれくらい空病床が必要かという予測に役立つ

- ・ **TEIJIN** 発災後12時間以内に9割以上の利用者の安否確
ており、事業所の状況及び事業所事の利用者状況が把握できる

- ・ **マツダ病院** 救急車全例受入れ、JMAT、災害支
入れ、避難所の感染対策やトイレ等の清掃の重要性、近隣の看

- ・ **バクバクの会** 行政や民生委員からは安否確認がなかった。
要支援者避難支援制度の同意書がどのように活用されているのか
➡一か所が安否確認することでの対応は可能か
- ・ **TEIJIN** 通行可能な道路情報
酸素ボンベの配送をするために必要
- ・ **マツダ病院** 被災地域他からの患者受け入れ
➡地域医療として退院患者の受け入れ
社協ボランティアに対する派遣
➡ボランティアセンターでの役割分担
- ・ **元消防署長** 支援が必要だと連絡してほしかった

災害時に必要な情報はあったか、なにがあるか

- A 予め必要になるであろうサイトを一覧にし更新していく・予め準備できるもの
- B 地域の情報
- C 自施設の情報
- D) 困り事

これからの天候・河川の状況
(ギキル)

感染対策等の手順（トイレ
清掃・破傷風等）熱中症等
基本的な情報

情報がとれる
サイト情報
情報の発信源

避難所の
状況

今使えるもの
フリーWifi
起動している
情報

職員の情報によ
る狭い道路など
システムに情報
として乗らない
ローカルなもの

職場・
施設

道路の状況
町の災害
対策課)

被害
状況

避難所との
連携方法

正しい
情報

課題)
情報の統合
情報をつなぐ
正しい情報

救助が必要
な利用者の
正しい情報

診療受け入れが可
能か、どのまでの
医療行為が可能か
地域のクリニック
など外科処置

自施設の
被災情報

医療チーム
(JMAT)派遣
可能・準備
中等

訪問サービスの
事業所連携
稼働情報

稼働可能
な職員数

提供可能
な資源

☒☒地域が訪
問できない支
援可能な方は
いませんか？

オビオイドが残り
少ないです。処方
できませんか？自
宅療養は可能で
す。避難所にいま
す。など

地域の中で、一緒に

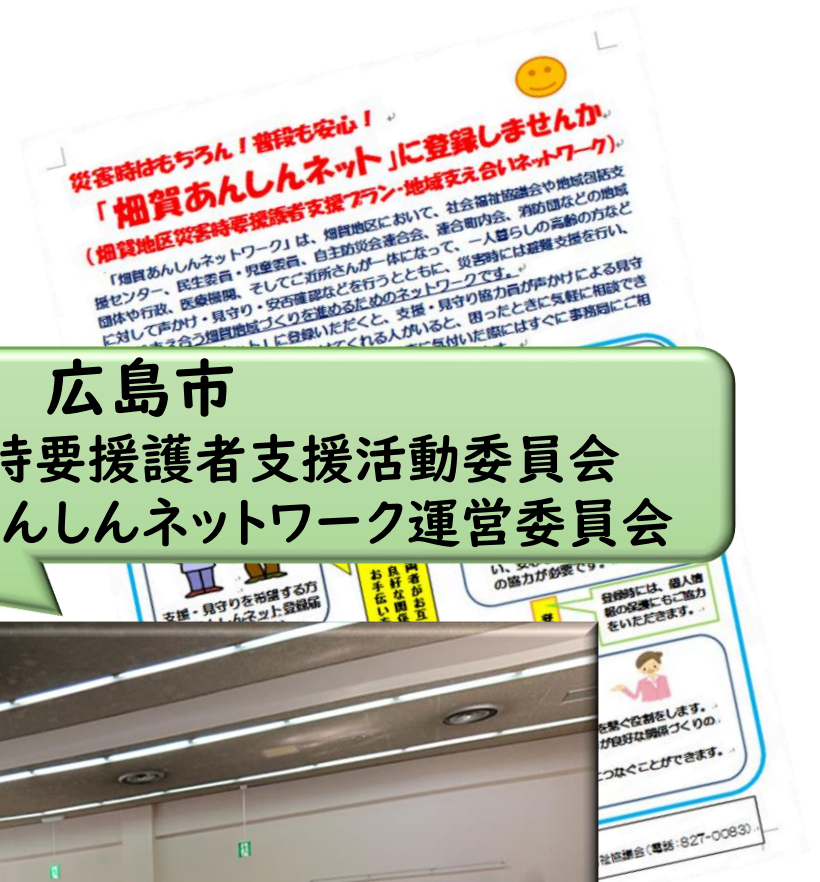
熊野町・府中町等の防災訓練参加

熊野町減災まちづくり会議



広島市

畑賀地区災害時要援護者支援活動委員会
H27より:畑賀あんしんネットワーク運営委員会



避難所スタッフ間ミーティングに参加（7～8月）

- 4ヶ所のうち、2か所は巡回診療の必要なし（JMAT）
- ペットの部屋の環境改善
- 毛布の自己管理（ノミ、砂埃ひどく干せない）
- 台風接近、避難者増える可能性あり、支援体制
- 肝硬変、腹水・足の浮腫、精神混乱、壁に穴を開けた
- 避難所間の差（部屋・食事（牛乳導入））
- 家庭訪問後のメンタルの対象者支援（DPAT）
- トイレ掃除指導方法
- ペットの糞、ごみ置場の配置
- 皮疹、咽頭痛、咳、不眠
- 盆休み診療医療機関一覧提供
- インフルエンザ 医師会協力
- 職員のメンタルケア



2018年西日本豪雨災害後 地域からの意見による注意箇所を入れた

府中町 令和元年10月

府中中央小学校区 土砂災害ハザードマップ

※このハザードマップは大雨による土砂災害を想定して作成しています。避難行動の参考としてください。

お問い合わせ 府中町 総務企画部 危機管理課 電話：082-286-3243

府中中央小学校区および校区周辺の避難施設一覧

開設 基準	施設名称	災害種別			海拔 (m)
		土石流	がけ崩れ	洪水	
避難 レベル3 危険箇所	府中中央小学校	○	○	○	4.0m
	府中緑ヶ丘中学校	○	○	○	15.3m
	福寿館	○	○	○	3.2m
	府中南交流センター	○	○	②	1.9m
	府中小学校	○	○	②	3.1m
	府中中学校	○	○	○	31.7m
状況 により 開設	府中東小学校	○	○	○	55.2m
	くすのきプラザ	○	○	②	2.1m
	府中東地区センター	○	○	○	47.6m
	府中町立体育場	○	○	—	2.1m
	府中町役場	○	○	○	2.8m
	安芸府中商工センター	○	○	○	4.3m
	チェリーゴード	○	○	○	46.7m
	青少年文化センター	○	○	○	46.4m
	空城山公園	○	○	○	38.1m

※②の避難場所 ▶ 地域から寄せられた意見を基にした府中中央小学校区の主な避難先

※災害種別 ▶ ①：使用可 / ②：2階以上使用可 / —：使用不可

自主防災会、町内会や委員会などを避難場所として自主開設した場合は、自費の上、危機管理課までご連絡ください。

浸水時緊急退避協力施設
洪水などの際に、町が開設する避難場所等への避難の途中で浸水危険にさらされた場合に、町民等が緊急一時に退避するための施設です。地震や土砂災害の際の滞在先として使用するものではありません。

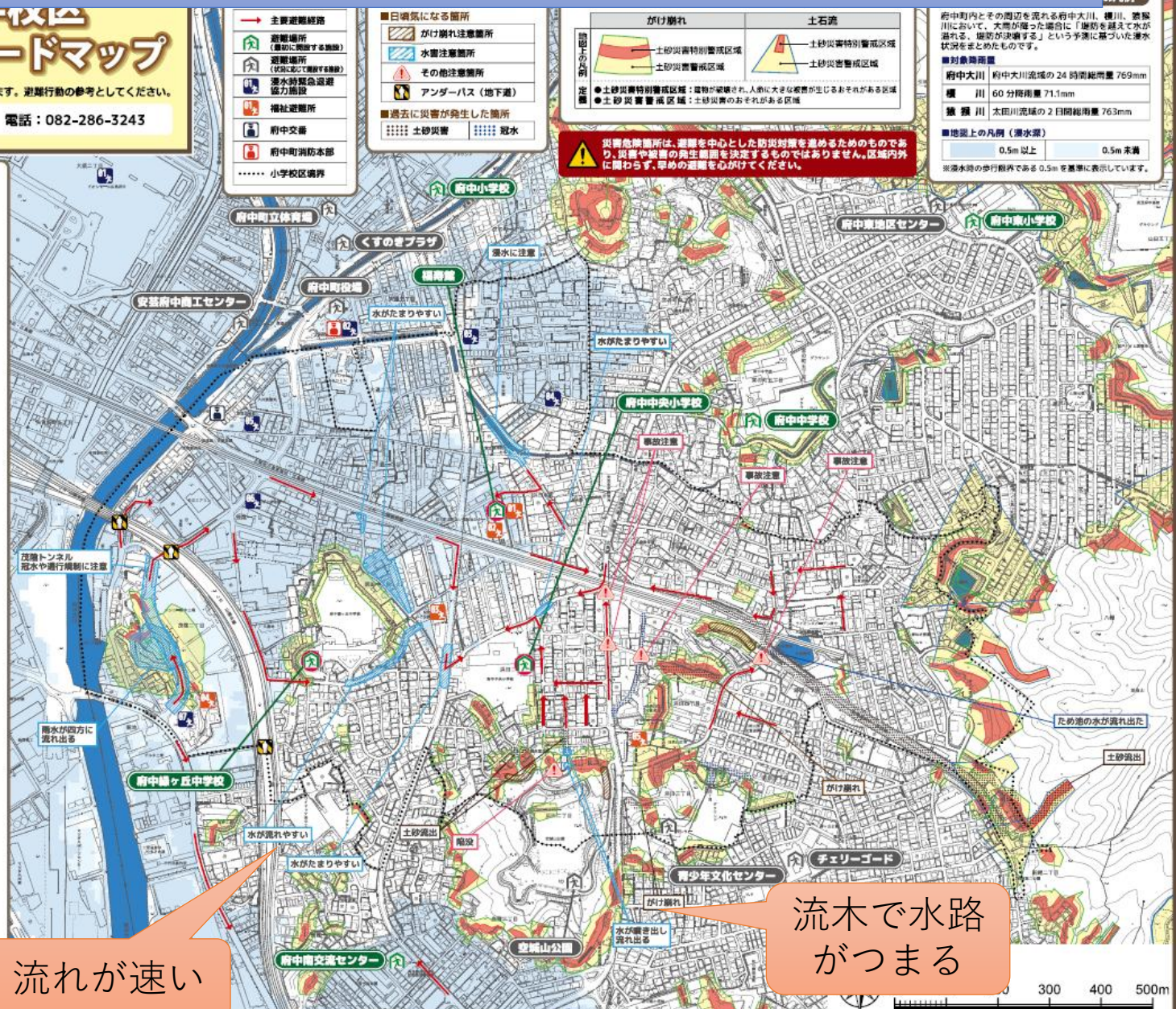
施設名称	避難場所	海拔(m)
01 イオンモール広島府中	立体駐車場	1.5m
02 消防庁舎	廊下・講堂	2.7m
03 FURUTA BLD(古田ビル)	廊下・階段	2.9m
04 みなとやコーポ	廊下・階段	2.5m
05 津田野ビル	廊下・階段	1.5m
06 こばと幼稚園	廊下・教室等	1.5m
07 総合エナジー(株)事務所棟	会議室	3.7m

福祉避難所
避難所生活が長期化するような場合、避難場所での避難所生活が困難な要配慮者(高齢者や障害のある人など特別な配慮を必要とする人)を受け入れる二次的な避難所です。
通常の避難場所とは異なり、最初から避難所として利用することができません。まずは、指定された避難場所へ避難してください。

施設名称	災害種別	海拔(m)
01 福寿館	○ ○ ○	3.2m
02 府中町ふれあい福祉センター	○ ○ ○	3.1m
03 社会福祉法人 みどり会 みどり園	○ ○ ○	3.2m
04 社会福祉法人 かきつばた福祉会 福寿苑	○ ○ ○	9.7m
05 府中町福祉の館 なないろ作業所	○ ○ ○	13.4m

流れが速い

流木で水路
がつまる



コロナ禍 近隣ステーションとの連携体制構築

2019.3開始

ご利用者の皆様へ、

安芸地区医師会総合介護センター、
統括所長 板谷裕美、

（訪問看護事業所）一時休止になった場合の体制について、

新型コロナウイルス感染症の拡がりが一日も早く終息することを心から願っていますが、
通所介護の休業などの情報が聞かれ、全国的にまん延している状況です。、

当事業所においても、新型コロナウイルスの感染症が発生した場合には、保健所の指示に
従い事業所を一時的（概ね 14 日間）に休止することがあります。、

その際、緊急的に連携をとっている訪問看護ステーションが対応し、利用者の皆さまが困ら
ない体制を準備したいと考えています。、

利用者やご家族様、主治医、ケアマネジャーに事前に連絡し同意を得て引き継ぎます。、

連携する訪問看護ステーションは主治医やケアマネジャーに確認し訪問看護を開始します。、

◎ 連携体制をとっている訪問看護ステーション、

- ・安芸地区医師会海田訪問ステーション（海 田）、
- ・安芸地区医師会府中訪問ステーション（府 中）、
- ・安芸地区医師会熊野訪問ステーション（熊 野）、
- ・訪問看護ステーションやすらぎ（坂 本）、
- ・訪問看護ステーション中野（安芸区中野）、
- ・くにくさ訪問看護ステーション（安芸区矢野）、
- ・訪問看護ステーション瀬野川（安芸区中野）、
- ・9 すめっと訪問看護ステーション（南区青崎）
- ・アフローチ訪問看護ステーション（安芸区矢野）
- ・その他（ご利用者の選定事業所、または入院医療機関）、

※連携する事業所との契約が必要となります。

承 諾 書

わたし（ ）は、貴事業所が一時休止になった際には、別の、
訪問看護ステーションからの訪問を、

- ☐ 希望しません。
- ☐ 希望します。

1.希望する訪問看護ステーション、

- ☐ 特にないので貴事業所に任せます。
- ☐ （ ）訪問看護ステーションを希望します。

2.上記の訪問看護ステーションに、私の個人情報を提供することを承諾します。

- ☐ 承諾しない。
- ☐ 承諾する。

社協ボランティアセンターの救護班を急遽（健康状態チェック、熱中症などの指導）



活動場所をラウンド



破傷風・チャドクガ発生情報 や対応方法の説明

破傷風についてのお知らせ

破傷風は、けがの傷口が土などで汚れていると感染します。

- 土の中には破傷風菌が存在しています。外傷を負い、傷口から破傷風菌が侵入した場合、破傷風に感染することがあります。破傷風は、人から人に感染することはありません。
- 感染すると、3〜21日後になって、全身のこわばりや筋肉のけいれんが起ります。はじめは、顎や首の筋肉のこわばりや口が開けにくくなり、こわばりが全身へ広がることもあります。重症ははっせりしています。重症の場合は死に至ることもあります。

破傷風とは？

- 震災から1か月の間に、被災地で7名の患者が確認されました。いずれも震災当日(3月11日)のけがが原因でした。
- 阪神・淡路大震災では流行はみられず、スマトラ沖地震では震災直後に患者が増加しましたが、震災1か月以内におさまりました。
- 災害がなくても、例年、全国で100人程度の患者が発生しています。(平成16〜30年の5年間の患者数346人、死に者数35人)

傷口に土が付いたり、がれきや釘などでけがをした場合には、傷口をよく洗い、医師の診察を受けましょう。

- 外傷を負い、土などで汚染された場合には、速やかに傷口を洗浄するとともに医師の診察を受けてください。医療機関では、けがの手当てとともに、必要に応じて、破傷風の予防のための処置をします。
- 万一、けがをして3週間くらいの間に、顎や首の筋肉のこわばり、口が開けにくいなど、破傷風の症状がみられたら、すぐに医療機関を受診してください。

もし感染したら？

ワクチンはある？

- 乳児期に接種する三種混合の予防接種には、昭和44年頃からは、破傷風のワクチンが含まれており、30代までの方は破傷風の免疫をもっていますが、40代以上の方は免疫が十分ではありません。
- 予防接種を受けていない場合には、破傷風の予防接種を受けることで免疫をつけることができます。2回の接種が必要で、接種開始後2か月程度で免疫がつくことができます(最初の免疫をつけるためにはさらに追加が必要です)。特にけがをしやすい作業に従事する方は、予めワクチンを接種すると効果的です。

被災地で作業をする際には十分にご注意ください。

毒のある毛虫にご用心

チャドクガを見つけたら

チャドクガは、幼虫(毛虫)、成虫(蛾)のすべての時期に毒針毛を持ち、人が触れると皮膚炎を起こします。ツバキ、サザンカ、チャなどツバキ科の植物に発生して、葉を食害します。チャドクガの幼虫は「死がい」も同様にとくんです。触らないようにしましょう。

チャドクガの一生

葉の裏に産み付けられた卵(黄白色の玉)で育ち、幼虫は4月〜6月、8月〜10月の年2回発生します。幼虫は孵化後から葉を食害します。小さい幼虫は1か所にまとまっていますが、成長していくうちに、だんだん木全体に広がります。5〜6齢幼虫は25mmほどの大きさになる。まから下りながら分岐し葉の裏の下など隠れかくすようになります。20日間ほどで幼虫から成虫になります。

1 毛虫に触れてしまったら？

① セロハンテープなどで触れた皮膚の周辺をそっと剥がして、毒針毛を除去する。

② 流水やシャワーでしっかりと洗い流す。被害が広がってしまうので、かいたい、さつぷりしないようにしましょう。

③ 薬は、既にステロイド軟膏を使用しています。被害範囲が広い場合は皮膚科、目の被害を受けた場合は水で洗った後に眼科を受診してください。

※ 毛虫に毒針毛がついた場合は、洋服などでいかに取り除く。衣類などはほかの物と分けて、汚染のため洗濯はできません。